



学校だより



丹波篠山市草ノ上 108 TEL558-0116 fax558-0260 令和7年7月号 No.4

「夏を過ごす・・・その先に」

校長 安井健二

「暑い！暑い！」真夏になりました。子どもたちは、7月18日に1学期の終業式を迎え、いよいよ夏本番、待ちに待ったパラダイス(?)の夏休みです。せっかくの夏休みです、ただ「ボー」と過ごすパラダイスではなく、日ごろから「やってみたいなあ」と思いつつできてないことに挑戦し、一つでも「できた」「やったー」といった有用感、達成感を味わえる「パラダイス」を過ごし、学校に戻ってきて欲しいと思っています。

とは言え、私も経験がありますが親にとっては楽しさ半分、「宿題したの?」「絵は描けたの?」といった小言が増えるのが半分の大変な時期なのかもしれません。

最近、ある書物を読んでいると、「毒親」という言葉が目飛び込んできました。「毒親?何?」と思い読んでいくと、「毒親」にはいろいろな解釈があり、決まった定義はないようですが、「子どもを愛しているからこそ、要求のレベルを上げて、子どもの行動を縛ってしまう親のことで、自分が叶えられなかった夢を過剰に託したり、自分と同じように生きることを過剰に要求したりする親のことのようです。

私自身の子育てを振り返ってみると、愛情があるが故に託したり、要求したりしたように思います。それは愛する子どものことを考えれば当たり前だと思っていましたし、全く「毒親」というつもりはありませんでした。ただ、過剰だったかどうか問題だと言われれば、30歳前後の子どもにその是非を聞いてみるしかないのかもしれません。ちょっと怖い気がします、が、「親」はなかなか大変です。

そんな親と子どもが触れ合う機会が日頃より多くなる夏休み、一個人としての子どもを認め、将来に向けて自立して生きていける力を付ける良い機会になればと思います。そのために、やって欲しい「5つのこと」のご提案です。

一つ目「得意技を持たせること」・・・「できるかな?」を「できた」に変えられる新たな挑戦をさせてみてはどうでしょう。一つの自信が、二つ、三つの自信につながることはよくあります。

二つ目「ほめられる快感を覚えさせること」・・・ほめられると「ドーパミン」というホルモンが出て「もっと、もっと」という気持ちになり、向上心が高まります。

三つ目「感動する心を与えること」・・・この力を付けるには、ウォーミングアップが必要だと言われています。大人が「わあー、この花かわいい!」「まあ、きれいな夕日!」と感動を言葉にし続けると、子どもも感動する力が付くそうです。

四つ目「我慢する力を養うこと」・・・かわいがると甘やかすのは違いますよね!ダメな時はダメと時には厳しく、我慢やルールを教えることは大切です。難しいですが。

五つ目「求めすぎないこと」・・・いろいろな愛情はありますが、一人の人間として、人格を尊重することは大切です。

刺激を与えたり、守ってあげたりするうちに、親子の枠を越え、助け合い、尊敬し合える関係になっていくのではないのでしょうか?そして、そうしたことを続けるうちに、子ども自身の中に人生を生き抜く「生きる力」が芽吹いてくるのかもしれません。

2学期、9月1日に多紀っ子が元気に学校へ戻ってきてくれるのを楽しみにしています。

5年生自然学校

5年生の27人が6月9日(月)～13日(金)の1週間、豊岡市の竹野浜海岸周辺で自然学校を行いました。当初、天候が危ぶまれましたが、雨もほとんど心配することなく、全てのプログラムを行うことができ、カッター、カヤック、カヌー体験、魚釣り、カレーづくり、浜遊び、スノーケル体験、磯観察など、日頃の学校では体験できないことを経験してきました。

また、多紀小の27名だけではなく、城東小の5年生と一緒に篠山東連合としての自然学校でしたので、寝食を共にする中で友情も深まりました。

この一生残る経験が、これからの学校生活等にどう生きてくるか楽しみです。



6年生・歴史の街、奈良へ



6年生が6月20日(金)、歴史の勉強のために「歴史の街奈良」へ校外学習に出かけました。出発した瞬間からテンションはマックスでした。

到着後、春日大社、若草山、東大寺二月堂、三月堂、大仏殿、南大門・・・と歴史遺産を探訪していくうちに、奈良時代にタイムスリップした感覚になりました。大仏殿では、「でっかいなあ！」という声が聞こえました。そして、鼻の穴の大きさの「柱の穴ぐり」では、「通れるか？」というくらいの体格の6年生が身をよじりながら通り抜けていました。

なかには、鹿にひたすら煎餅をあげて、すごくなつかれている人もいました。

楽しみながら学ぶことができた校外学習になりました。

「生活アンケートを行いました」(結果と考察)

本校では、本年度も毎学期、児童に「生活アンケート」を行い、その結果をもとに担任と児童が面談を行いました。このアンケートと面談を通して、いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応に取り組んでいます。1学期の結果、継続的で根深いいじめ事案はありませんでした。しかし、遊んでいる延長やふざけて、ぶつかったり、叩いたりするといったことや、不用意な言動により、相手に嫌な思いさせるといった事案はありました。

また、アンケート結果等から嫌な思いをした時に「担任の先生、友人に相談する」という児童もいましたが、「相談しない、またはできない」という児童もいました。今後も、児童に向き合い、児童の内面把握に努め、多紀っ子が安全で、安心な学校生活を送れるように取り組んでいきます。

ご家庭、地域でお気づきのことがありましたら、ご連絡ください。

今年度の2学期の始まりは、『9月1日』です。

良い夏休みを！！